
ありがとう。

雑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとうございます。

【Zコード】

N5441M

【作者名】

隼

【あらすじ】

ただ伝えたい僕の思い。

今年も梅雨が終わり暑い夏がやがてくる。

でも今年は今までとは大きすぎる違いがある。

それは、君がないこと・・・。

この誰もが開放的になり待ちに待つ季節を、僕は心に穴が空いたような、寂しい思いで迎えることになる。

君と初めて会つてから約16年。

随分長い間一緒にいたなあ。

初めて見たのはペットショップ。

店の中を走り回つてゐる真っ白な猫。

僕は一生懸命になつて捕まえたのを今でも鮮明に覚えてる。

早速家に連れ帰つてついた名前が「つさ」。

男子だつたのにね。

でもなぜかピッタリな名前だつたよ。

僕はりつちゃんつて呼んでたけどね。

りつちゃんが来てからの毎日はほんと楽しかつたよ。

僕は毎日のように癒されてあつて、この間にかけがえのない存在になつたよ。

でも僕は癒されてばつかりいたけど、りつちゃんは幸せだつたのかな? 家の都合で何回も引っ越ししてたから環境が変わつてばつかでごめんね。

他にも寝てる時にひょつかい出したり、『飯をあげるの忘れひつたりしたなあ。

りつちゃんがいなくなつたら後悔ばかりが頭をよぎるよ。でもね、やつぱり頭に一番多く浮かぶのがりつちゃんのかわいい姿ばっかりだよ。

勝手に窓を開けて外に逃走したり、ベランダに出て意味もなくちょっと歩いてたり、僕がご飯食てるのにつの間にかひょこひょこして

横に座つて何かくれるの待つてたり、僕の顔の上で寝たり、数えきれない程の姿が浮かんでくるよ。

でもそんなりつちゃんを思い出すだけで涙がこぼれてくる。
1週間前までは普通に過ごしてたのに急に体調が悪化していつて最後は体を動かすこともできずにただ横になつてるだけ。

ほんとにただ息をしてるだけの状態だった・・・。

そんなりつちゃんを見てたらほんとにこれでお別れなんだなつて思つた。

命あるものはには必ず死が平等にやつてくる。

それは理解できても認めたくなかった。

いなくなるなんて思いたくもなかつた。

そしてついに最後の時がやつてきました。

りつちゃんは呼吸もしなくなり、少し痙攣して、静かに旅立ちました。

僕は最後まで見ていてあげることしかできなかつた。

きっと最後は意識がないまま逝つたんだろうな・・・。

苦しまないで静かに息を引き取る、最後までえらかつたね。

よく頑張つたね。

でも最後まで立派で綺麗な顔していつものように起き上がりつてしまふでずつと待つてたけどやつぱりりつちゃんは動いてくれない。

ほんとにいなくなつちゃつたんだ・・・。

辛いなあ、悲しいなあ、寂しいなあ。

最後は笑つて送つてあげるつもりだつたけどやつぱり無理だよ・・・。

りつちゃんは覚えてるかな。

2年前に飼つてた犬が死んじやつた時も僕は一人で号泣してた。

でもそんな僕を見てりつちゃんは静かに僕の隣にじつとして僕を慰めてくれた。

でも、今回は慰めてくれる子がないよ。

あの時のりつちゃんはほんと優しかつたね。

でも僕はりっちゃんみたいになれないや。

最後までりっちゃんには迷惑掛けっぱなしになっちゃったよ。

でもりっちゃんのことは一生忘れないよ。

僕が忘れない限りりっちゃんは僕の中でいつも笑ってる。

だから先に向こうで待つてね。

またいつか一緒にのんびり暮らそう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5441m/>

ありがとう。

2010年10月16日05時31分発行